平成 29 年度 病院事業決算状況

都道府県名 大阪府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	大阪府立病院機構	2	東大阪市	総合病院	20
大阪市	総合医療センター	3	阪南市	阪南市民病院	21
大阪市	十三市民病院	4			
大阪市	住吉市民病院	5			
堺市	堺病院	6			
岸和田市	岸和田市民病院	7			
豊中市	市立豊中病院	8			
池田市	市立池田病院	9			
吹田市	吹田市民病院	10			
泉大津市	市立病院	11			
貝塚市	貝塚病院	12			
枚方市	市立ひらかた病院	13			
八尾市	市立病院	14			
泉佐野市	泉佐野病院	15			
和泉市	市立病院	16			
箕面市	市立病院	17			
柏原市	市立柏原病院	18			
藤井寺市	市立藤井寺市民病院	19			

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	
		病院名	大阪府立病院機構
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	8,839,469	
決算規模(千円)	2,647,594,211	
標準財政規模(千円)	1,555,791,412	
財政力指数	0.77760	
経常収支比率(%)	100.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.9
	将来負担比率(%)	183.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	109,567			
1 経常収益	109,567			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	109,567			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	109,567			
2 経常費用	109,567			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	50.2
材料費	-	-	24.0	27.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.9
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.2	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	109,567			
(うち支払利息)	109,567	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	99.7
医業収支比率	-		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	大阪市
		病院名	総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,691,185	
決算規模(千円)	1,740,813,287	
標準財政規模(千円)	848,686,770	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	98.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	65.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	663,819			
1 経常収益	663,819			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	663,819			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	663,819			
2 経常費用	663,819			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	50.2
材料費	-	-	24.0	27.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.9
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.2	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	663,819			
(うち支払利息)	663,819	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	21,620,921			
経常収支比率	100.0		98.0	99.7
医業収支比率	-		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	大阪市
	病院名	十三市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,691,185	
決算規模(千円)	1,740,813,287	
標準財政規模(千円)	848,686,770	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	98.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	65.2

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	177,694			
1 経常収益	177,694			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	177,694			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	177,694			
2 経常費用	177,694			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	59.2
材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	27.3
(うち委託料)	-	-	11.2	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	177,694			
(うち支払利息)	177,694	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	8,740,527			
経常収支比率	100.0		98.0	96.1
医業収支比率	-		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	83.2

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (29 年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	大阪市
		病院名	住吉市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	2,691,185	
決算規模（千円）	1,740,813,287	
標準財政規模（千円）	848,686,770	
財政力指数	0.93	
経常収支比率（%）	98.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.7
	将来負担比率（%）	65.2

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,725			
1 経常収益	12,725			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,725			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,725			
2 経常費用	12,725			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	12,725			
(うち支払利息)	12,725	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	599,279			
経常収支比率	100.0		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	堺市
		病院名	堺病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	839,310	
決算規模(千円)	397,393,283	
標準財政規模(千円)	218,625,580	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	22.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	191,908			
2 経常費用	191,908			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	55.2
材料費	-	-	24.0	25.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.5
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.2	9.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	191,908			
(うち支払利息)	191,908	-	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-191,908			
純損益	-191,908			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.0	98.4
医業収支比率	-		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	-		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	岸和田市
	病院名	岸和田市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I 訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	30,575 m ²	指定病院の状況	救臨が 地 輪
診療科数	32	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	400	80.5	80.6	78.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	80.5	80.6	78.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	12.0	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	194,911	
決算規模(千円)	75,560,337	
標準財政規模(千円)	41,591,278	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	102.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	43.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.7
修正医業収支金額(千円)	12,285,501

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,903,691			
1 経常収益	13,903,457			
(1) 医業収益	12,658,163			
入院収益	7,382,327			
外来収益	4,677,348			
診療収入計	12,059,675			
その他医業収益	598,488			
(うち他会計負担金)	372,662			
(2) 医業外収益	1,245,294			
(うち国・都道府県補助金)	20,784			
(うち他会計補助・負担金)	929,178			
(うち長期前受金戻入)	13,243			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	234			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,610,775			
2 経常費用	13,598,544			
(1) 医業費用	12,706,033			
職員給与費	6,214,915	49.1	55.9	55.2
材料費	3,583,329	28.3	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,987,050	15.7	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,513,857	12.0	11.1	12.3
減価償却費	885,683	7.0	9.2	8.5
経費	1,944,433	15.4	23.2	19.0
(うち委託料)	1,301,118	10.3	11.2	9.1
研究研修費	54,873			
資産減耗費	22,800			
(2) 医業外費用	892,511			
(うち支払利息)	334,955	2.6	1.7	1.6
(3) 特別損失	12,231			
損益				
経常損益	304,913			
純損益	292,916			
累積欠損金	4,804,441			
経常収支比率	102.2		98.0	98.4
医業収支比率	99.6		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	9.4		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	92.7		85.9	88.5

備考:
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,228,316
1 固定資産	15,003,557
(1) 有形固定資産	14,897,809
(2) 無形固定資産	1,108
(3) 投資その他の資産	104,640
2 流動資産	2,224,759
(1) 現金及び預金	57,770
(2) 未収金及び未収収益	2,073,970
(3) 貸倒引当金()	340
(4) 貯蔵品	93,359
3 繰延資産	-
負債合計	15,100,820
1 固定負債	11,104,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,991,105
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,079,762
(7) リース債務	33,878
2 流動負債	3,879,050
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,456,277
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	339,101
(6) リース債務	33,102
(7) 一時借入金	660,000
(8) 未払金及び未払費用	1,390,570
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	117,025
(1) 長期前受金	191,335
(2) 長期前受金収益化累計額()	74,310
資本合計	2,127,496
1 資本金	6,833,190
2 剰余金	-4,705,694
(1) 資本金剰余金	98,747
(2) 利益剰余金	-4,804,441
負債・資本合計	17,228,316
不良債務	198,014
実質資金不足額	198,014
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,457,628	1,301,840
資本勘定繰入	529,008	100,000
計	1,986,636	1,401,840

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	198,014	1.6
28年度	171,922	1.4
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.0
健全化法上の資金不足額(千円)	198,014
健全化法上の資金不足比率(%)	1.5
地財法上の資金不足額(千円)	198,014
地財法上の資金不足比率(%)	1.5

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	豊中市
				病院名	市立豊中病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	67,544 m ²	指定病院の状況	救臨が感地輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	599	88.9	86.7	90.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	14	-	-	0.2
計	613	86.8	84.7	88.8
平均在院日数（一般病床のみ）		11.6	11.6	11.8

設立団体の状況		
人口（人）	395,479	
決算規模（千円）	143,710,633	
標準財政規模（千円）	82,687,443	
財政力指数	0.92	
経常収支比率（%）	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.1
	将来負担比率（%）	2.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.8
修正医業収支金額（千円）	16,583,166

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,791,423			
1 経常収益	18,791,423			
(1) 医業収益	17,012,429			
入院収益	11,382,241			
外来収益	4,826,004			
診療収入計	16,208,245			
その他医業収益	804,184			
(うち他会計負担金)	429,263			
(2) 医業外収益	1,778,994			
(うち国・都道府県補助金)	62,712			
(うち他会計補助・負担金)	1,068,639			
(うち長期前受金戻入)	478,121			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,017,168			
2 経常費用	19,017,168			
(1) 医業費用	18,072,448			
職員給与費	8,877,398	52.2	55.9	50.2
材料費	4,537,680	26.7	24.0	27.7
(うち薬品費)	2,484,950	14.6	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,915,179	11.3	11.1	12.9
減価償却費	1,387,796	8.2	9.2	8.3
経費	3,201,889	18.8	23.2	20.7
(うち委託料)	1,676,173	9.9	11.2	11.4
研究研修費	57,815			
資産減耗費	9,870			
(2) 医業外費用	944,720			
(うち支払利息)	266,401	1.6	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-225,745			
純損益	-225,745			
累積欠損金	395,245			
経常収支比率	98.8		98.0	99.7
医業収支比率	94.1		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	8.0		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	90.9		85.9	90.3

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	27,424,791
1 固定資産	18,781,678
(1) 有形固定資産	18,441,598
(2) 無形固定資産	340,080
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	8,643,113
(1) 現金及び預金	5,787,209
(2) 未収金及び未収収益	2,728,833
(3) 貸倒引当金（ ）	35,887
(4) 貯蔵品	155,710
3 繰延資産	-
負債合計	15,615,122
1 固定負債	10,301,078
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,290,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,010,867
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,807,554
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,502,261
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	488,044
(6) リース債務	2,609
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,740,256
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,506,490
(1) 長期前受金	3,337,769
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,831,279
資本合計	11,809,669
1 資本金	11,093,374
2 剰余金	716,295
(1) 資本剰余金	1,111,540
(2) 利益剰余金	-395,245
負債・資本合計	27,424,791
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,466,821	1,497,902
資本勘定繰入	887,606	887,606
計	2,354,427	2,385,508

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	2.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	池田市
	病院名	市立池田病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	38,896 m ²	指定病院の状況	救臨 地 輪
診療科数	23	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	364	90.2	89.7	91.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	364	90.2	89.7	91.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	12.4	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	103,069	
決算規模(千円)	35,912,554	
標準財政規模(千円)	20,873,825	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	15.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	99.8
修正医業収支金額(千円)	10,803,217

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,365,672			
1 経常収益	11,365,672			
(1) 医業収益	11,068,886			
入院収益	6,975,649			
外来収益	3,525,578			
診療収入計	10,501,227			
その他医業収益	567,659			
(うち他会計負担金)	265,669			
(2) 医業外収益	296,786			
(うち国・都道府県補助金)	16,558			
(うち他会計補助・負担金)	158,830			
(うち長期前受金戻入)	8,735			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,506,004			
2 経常費用	11,506,004			
(1) 医業費用	10,827,827			
職員給与費	5,202,022	47.0	55.9	56.9
材料費	2,963,887	26.8	24.0	24.2
(うち薬品費)	1,753,485	15.8	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,090,991	9.9	11.1	11.7
減価償却費	641,798	5.8	9.2	9.5
経費	1,965,703	17.8	23.2	21.8
(うち委託料)	1,055,191	9.5	11.2	10.7
研究研修費	44,521			
資産減耗費	9,896			
(2) 医業外費用	678,177			
(うち支払利息)	241,226	2.2	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-140,332			
純損益	-140,332			
累積欠損金	17,821,583			
経常収支比率	98.8		98.0	96.3
医業収支比率	102.2		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	3.7		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	3.8		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	3.7		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	95.1		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,443,330
1 固定資産	14,850,970
(1) 有形固定資産	14,825,591
(2) 無形固定資産	21,179
(3) 投資その他の資産	4,200
2 流動資産	2,592,360
(1) 現金及び預金	584,534
(2) 未収金及び未収収益	1,977,028
(3) 貸倒引当金()	8,993
(4) 貯蔵品	39,791
3 繰延資産	-
負債合計	14,512,064
1 固定負債	10,803,900
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,157,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,520,034
(7) リース債務	126,153
2 流動負債	3,573,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,029,756
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	291,575
(6) リース債務	14,307
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,185,292
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	134,844
(1) 長期前受金	209,676
(2) 長期前受金収益化累計額()	74,832
資本合計	2,931,266
1 資本金	20,741,469
2 剰余金	-17,810,203
(1) 資本剰余金	11,380
(2) 利益剰余金	-17,821,583
負債・資本合計	17,443,330
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	702,303	424,499
資本勘定繰入	623,564	623,564
計	1,325,867	1,048,063

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	99,946	0.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	161.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	吹田市
		病院名	吹田市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	374,468	
決算規模（千円）	123,358,131	
標準財政規模（千円）	70,589,517	
財政力指数	0.99	
経常収支比率（%）	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-2.2
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	66,556			
1 経常収益	66,556			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	66,556			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	66,556			
2 経常費用	66,556			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	55.2
材料費	-	-	24.0	25.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.5
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.2	9.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	66,556			
(うち支払利息)	66,556	-	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	98.4
医業収支比率	-		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	88.5

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	泉大津市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,313 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	22	看護配置	7:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	230	72.7	70.4	73.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	230	72.7	70.4	73.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	11.8	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	75,897	
決算規模(千円)	28,663,609	
標準財政規模(千円)	16,569,350	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	91.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.7
修正医業収支金額(千円)	4,783,306

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,435,002			
1 経常収益	5,435,002			
(1) 医業収益	4,929,285			
入院収益	2,809,970			
外来収益	1,605,358			
診療収入計	4,415,328			
その他医業収益	513,957			
(うち他会計負担金)	145,979			
(2) 医業外収益	505,717			
(うち国・都道府県補助金)	28,649			
(うち他会計補助・負担金)	415,962			
(うち長期前受金戻入)	5,977			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,834,407			
2 経常費用	5,794,792			
(1) 医業費用	5,517,028			
職員給与費	2,664,697	54.1	55.9	59.2
材料費	928,928	18.8	24.0	19.6
(うち薬品費)	522,386	10.6	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	406,487	8.2	11.1	9.2
減価償却費	303,230	6.2	9.2	10.4
経費	1,599,515	32.4	23.2	27.3
(うち委託料)	539,210	10.9	11.2	11.8
研究研修費	12,151			
資産減耗費	8,507			
(2) 医業外費用	277,764			
(うち支払利息)	107,240	2.2	1.7	1.8
(3) 特別損失	39,615			
損益				
経常損益	-359,790			
純損益	-399,405			
累積欠損金	8,087,664			
経常収支比率	93.8		98.0	96.1
医業収支比率	89.3		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	11.4		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	84.1		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,147,334
1 固定資産	7,203,826
(1) 有形固定資産	7,176,378
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	27,448
2 流動資産	943,508
(1) 現金及び預金	75,361
(2) 未収金及び未収収益	854,007
(3) 貸倒引当金()	1,860
(4) 貯蔵品	13,624
3 繰延資産	-
負債合計	8,401,912
1 固定負債	5,956,402
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,134,046
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	650,000
(6) 引当金	1,037,182
(7) リース債務	135,174
2 流動負債	2,356,371
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	445,370
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	50,000
(5) 引当金	163,004
(6) リース債務	71,226
(7) 一時借入金	1,200,000
(8) 未払金及び未払費用	395,277
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	89,139
(1) 長期前受金	168,677
(2) 長期前受金収益化累計額()	79,538
資本合計	-254,578
1 資本金	7,823,086
2 剰余金	-8,077,664
(1) 資本金剰余金	10,000
(2) 利益剰余金	-8,087,664
負債・資本合計	8,147,334
不良債務	967,493
実質資金不足額	967,493
資本不足額()	254,578
資本不足額(繰延収益控除後)()	165,439
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	597,974	561,941
資本勘定繰入	338,059	338,059
計	936,033	900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	967,493	19.6
28年度	605,075	12.7
27年度	204,432	4.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	164.1
健全化法上の資金不足額(千円)	425,622
健全化法上の資金不足比率(%)	8.6
地財法上の資金不足額(千円)	967,493
地財法上の資金不足比率(%)	19.6

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	貝塚市
				病院名	貝塚病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,079 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	18	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	249	73.2	73.0	71.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	249	73.2	73.0	71.2
平均在院日数（一般病床のみ）		8.6	8.7	9.1

設立団体の状況		
人口（人）	88,694	
決算規模（千円）	31,736,504	
標準財政規模（千円）	18,137,152	
財政力指数	0.69	
経常収支比率（%）	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.2
	将来負担比率（%）	64.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	92.1
修正医業収支金額（千円）	6,302,587

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,382,172			
1 経常収益	7,211,166			
(1) 医業収益	6,508,533			
入院収益	3,770,037			
外来収益	2,360,317			
診療収入計	6,130,354			
その他医業収益	378,179			
(うち他会計負担金)	205,946			
(2) 医業外収益	702,633			
(うち国・都道府県補助金)	6,072			
(うち他会計補助・負担金)	341,534			
(うち長期前受金戻入)	288,870			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	171,006			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,205,777			
2 経常費用	7,205,777			
(1) 医業費用	6,842,149			
職員給与費	3,150,569	48.4	55.9	59.2
材料費	1,569,022	24.1	24.0	19.6
(うち薬品費)	883,375	13.6	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	644,506	9.9	11.1	9.2
減価償却費	494,452	7.6	9.2	10.4
経費	1,594,094	24.5	23.2	27.3
(うち委託料)	601,584	9.2	11.2	11.8
研究研修費	23,059			
資産減耗費	10,953			
(2) 医業外費用	363,628			
(うち支払利息)	133,205	2.0	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	5,389			
純損益	176,395			
累積欠損金	3,463,478			
経常収支比率	100.1		98.0	96.1
医業収支比率	95.1		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	7.4		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	92.5		85.9	83.2

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,332,431
1 固定資産	5,309,375
(1) 有形固定資産	5,293,791
(2) 無形固定資産	3,344
(3) 投資その他の資産	12,240
2 流動資産	1,023,056
(1) 現金及び預金	70,917
(2) 未収金及び未収収益	960,485
(3) 貸倒引当金（ ）	51,705
(4) 貯蔵品	43,187
3 繰延資産	-
負債合計	7,658,069
1 固定負債	5,653,979
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,225,720
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	70,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,225,168
(7) リース債務	133,091
2 流動負債	1,632,232
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	574,288
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	10,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	187,151
(6) リース債務	31,075
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	797,312
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	371,858
(1) 長期前受金	2,468,315
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,096,457
資本合計	-1,325,638
1 資本金	1,328,761
2 剰余金	-2,654,399
(1) 資本金剰余金	809,079
(2) 利益剰余金	-3,463,478
負債・資本合計	6,332,431
不良債務	24,888
実質資金不足額	24,888
資金不足額（ ）	1,325,638
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	953,780
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	627,216	547,480
資本勘定繰入	352,520	354,520
計	979,736	902,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	24,888	0.4
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	53.2
健全化法上の資金不足額（千円）	24,888
健全化法上の資金不足比率（%）	0.3
地財法上の資金不足額（千円）	24,888
地財法上の資金不足比率（%）	0.3

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	大阪府	
				市町村・組合名	枚方市	
				病院名	市立ひらかた病院	
施設及び業務概況等						
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	未	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当			
建物面積	31,824 m ²	指定病院の状況	救臨感			輪
診療科数	24	看護配置	7 : 1			
許可公営企業		経営形態	直営			
DPC対象病院	対象					

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一 般	327	72.7	71.7	69.7
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	8	0.3	4.7	0.9
計	335	71.0	70.1	68.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	11.2	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	404,152	
決算規模(千円)	134,001,944	
標準財政規模(千円)	78,172,003	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.8
修正医業収支金額(千円)	7,239,556

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	8,582,356			
1 経 常 収 益	8,578,479			
(1) 医 業 収 益	7,847,764			
入 院 収 益	4,675,945			
外 来 収 益	2,247,357			
診 療 収 入 計	6,923,302			
そ の 他 医 業 収 益	924,462			
(うち他会計負担金)	608,208			
(2) 医 業 外 収 益	730,715			
(うち国・都道府県補助金)	12,578			
(うち他会計補助・負担金)	504,501			
(うち長期前受金戻入)	25,201			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	3,877			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	9,549,543			
2 経 常 費 用	9,474,228			
(1) 医 業 費 用	9,071,553			
職 員 給 与 費	4,596,714	58.6	55.9	56.9
材 料 費	1,424,668	18.2	24.0	24.2
(うち薬品費)	676,914	8.6	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	742,089	9.5	11.1	11.7
減 価 償 却 費	1,251,733	16.0	9.2	9.5
経 理 費	1,773,509	22.6	23.2	21.8
(うち委託料)	1,012,818	12.9	11.2	10.7
研 究 研 修 費	22,061			
資 産 減 耗 費	2,868			
(2) 医 業 外 費 用	402,675			
(うち支払利息)	124,725	1.6	1.7	1.8
(3) 特 別 損 失	75,315			
損 益				
経 常 損 益	-895,749			
純 損 益	-967,187			
累 積 欠 損 金	8,348,254			
経 常 収 支 比 率	90.5		98.0	96.3
医 業 収 支 比 率	86.5		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.0		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	14.2		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	13.0		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	78.8		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	14,396,134
1 固 定 資 産	12,015,190
(1) 有 形 固 定 資 産	11,935,500
(2) 無 形 固 定 資 産	6,410
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	73,280
2 流 動 資 産	2,380,944
(1) 現 金 及 び 預 金	1,088,164
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	1,213,959
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	10,258
(4) 貯 蔵 品	88,930
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	14,359,136
1 固 定 負 債	11,293,685
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,954,166
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	1,339,519
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	2,309,129
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,015,393
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	451,981
(6) リ ー ス 債 務	576
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	726,727
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	32,913
3 繰 延 収 益	756,322
(1) 長 期 前 受 金	841,550
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	85,228
資 本 合 計	36,998
1 資 本	8,376,061
2 剰 余 金	-8,339,063
(1) 資 本 剰 余 金	9,191
(2) 利 益 剰 余 金	-8,348,254
負 債 ・ 資 本 合 計	14,396,134
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,112,709	1,112,709
資本勘定繰入	493,315	493,315
計	1,606,024	1,606,024

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-
27 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	106.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	八尾市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,470 m ²	指定病院の状況	救臨が地		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	380	89.9	86.3	85.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	89.9	86.3	85.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.3	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	268,800	
決算規模(千円)	98,630,071	
標準財政規模(千円)	54,207,935	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	100.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	30.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.7
修正医業収支金額(千円)	12,374,632

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,872,992			
1 経常収益	13,866,948			
(1) 医業収益	12,639,771			
入院収益	8,411,544			
外来収益	3,589,917			
診療収入計	12,001,461			
その他医業収益	638,310			
(うち他会計負担金)	265,139			
(2) 医業外収益	1,227,177			
(うち国・都道府県補助金)	5,654			
(うち他会計補助・負担金)	577,910			
(うち長期前受金戻入)	551,969			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,044			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,740,596			
2 経常費用	13,717,717			
(1) 医業費用	12,934,920			
職員給与費	5,829,091	46.1	55.9	56.9
材料費	3,269,388	25.9	24.0	24.2
(うち薬品費)	1,561,854	12.4	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,707,534	13.5	11.1	11.7
減価償却費	1,127,358	8.9	9.2	9.5
経費	2,614,308	20.7	23.2	21.8
(うち委託料)	1,854,667	14.7	11.2	10.7
研究研修費	35,812			
資産減耗費	58,963			
(2) 医業外費用	782,797			
(うち支払利息)	240,717	1.9	1.7	1.8
(3) 特別損失	22,879			
損益				
経常損益	149,231			
純損益	132,396			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.1		98.0	96.3
医業収支比率	97.7		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	6.7		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	6.1		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	94.9		85.9	85.4

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,321,597
1 固定資産	15,189,949
(1) 有形固定資産	14,887,552
(2) 無形固定資産	142
(3) 投資その他の資産	302,255
2 流動資産	7,131,648
(1) 現金及び預金	4,936,358
(2) 未収金及び未収収益	2,137,358
(3) 貸倒引当金()	5,298
(4) 貯蔵品	54,322
3 繰延資産	-
負債合計	18,705,443
1 固定負債	14,401,562
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,159,274
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,128,895
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,489,450
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,078,904
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	370,036
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,992,325
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	814,431
(1) 長期前受金	3,103,624
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,289,193
資本合計	3,616,154
1 資本金	2,497,286
2 剰余金	1,118,868
(1) 資本剰余金	18,025
(2) 利益剰余金	1,100,843
負債・資本合計	22,321,597
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	869,346	843,049
資本勘定繰入	735,276	549,765
計	1,604,622	1,392,814

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	泉佐野市
		病院名	泉佐野病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	100,966	
決算規模(千円)	73,985,201	
標準財政規模(千円)	22,576,634	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	109.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	149.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	251,828			
1 経常収益	251,828			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	251,828			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	251,828			
2 経常費用	251,828			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	56.9
材料費	-	-	24.0	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.7
減価償却費	-	-	9.2	9.5
経費	-	-	23.2	21.8
(うち委託料)	-	-	11.2	10.7
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	251,828			
(うち支払利息)	251,828	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	85.4

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	和泉市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,058 m ²	指定病院の状況	救	臨	が
診療科数	18	看護配置	7	:	1
許可公営企業	許可	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一 般	307	74.9	71.0	65.5
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	307	74.9	71.0	65.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	14.2	14.7

設立団体の状況		
人 口 (人)	186,109	
決 算 規 模 (千円)	64,007,837	
標 準 財 政 規 模 (千円)	34,178,688	
財 政 力 指 数	0.74	
経 常 収 支 比 率 (%)	97.2	
健全化 判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.6
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	1.6
修正医業収支金額 (千円)	11,058

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	572,895			
1 経 常 収 益	572,895			
(1) 医 業 収 益	178,988			
入 院 収 益	-			
外 来 収 益	-			
診 療 収 入 計	-			
そ の 他 医 業 収 益	178,988			
(うち他会計負担金)	167,930			
(2) 医 業 外 収 益	393,907			
(うち国・都道府県補助金)	5,208			
(うち他会計補助・負担金)	201,621			
(うち長期前受金戻入)	20,399			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	1,566,835			
2 経 常 費 用	1,566,835			
(1) 医 業 費 用	689,952			
職 員 給 与 費	136	0.1	55.9	56.9
材 料 費	-	-	24.0	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.7
減 価 償 却 費	338,212	189.0	9.2	9.5
経 費	351,604	196.4	23.2	21.8
(うち委託料)	38,176	21.3	11.2	10.7
研 究 研 修 費	-			
資 産 減 耗 費	-			
(2) 医 業 外 費 用	876,883			
(うち支払利息)	57,866	32.3	1.7	1.8
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	-993,940			
純 損 益	-993,940			
累 積 欠 損 金	9,018,340			
経 常 収 支 比 率	36.6		98.0	96.3
医 業 収 支 比 率	25.9		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	64.5		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	206.5		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	64.5		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	13.0		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	18,772,555
1 固 定 資 産	16,924,176
(1) 有 形 固 定 資 産	16,924,176
(2) 無 形 固 定 資 産	-
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	-
2 流 動 資 産	1,848,379
(1) 現 金 及 び 預 金	1,667,941
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	172,195
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	2,167
(4) 貯 蔵 品	-
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	18,729,810
1 固 定 負 債	16,091,315
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,091,315
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	2,494,028
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	405,103
(2) そ の 他 の 企 業 債	251,860
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	-
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	1,826,533
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	144,467
(1) 長 期 前 受 金	228,272
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	83,805
資 本 合 計	42,745
1 資 本 金	7,088,467
2 剰 余 金	-7,045,722
(1) 資 本 剰 余 金	1,972,618
(2) 利 益 剰 余 金	-9,018,340
負 債 ・ 資 本 合 計	18,772,555
不 良 債 務	240,546
実 質 資 金 不 足 額	240,546
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	255,812	369,551
資 本 勘 定 繰 入	248,879	511,298
計	504,691	880,849

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
29 年 度	240,546	134.4
28 年 度	249,515	146.0
27 年 度	251,339	2597.6

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	5038.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	240,546
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	134.3

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	箕面市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,067 m ²	指定病院の状況	救臨	地	輪
診療科数	23	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	317	90.3	86.4	90.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	317	90.3	86.4	90.5
平均在院日数（一般病床のみ）		11.3	10.4	11.0

設立団体の状況		
人口（人）	133,411	
決算規模（千円）	61,305,531	
標準財政規模（千円）	25,968,103	
財政力指数	0.96	
経常収支比率（%）	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	0.3
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.1
修正医業収支金額（千円）	8,308,501

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,491,560			
1 経常収益	8,491,560			
(1) 医業収益	8,318,072			
入院収益	5,724,061			
外来収益	2,334,914			
診療収入計	8,058,975			
その他医業収益	259,097			
(うち他会計負担金)	9,571			
(2) 医業外収益	173,488			
(うち国・都道府県補助金)	16,668			
(うち他会計補助・負担金)	20,429			
(うち長期前受金戻入)	56,711			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,379,691			
2 経常費用	9,379,691			
(1) 医業費用	9,119,858			
職員給与費	4,918,562	59.1	55.9	56.9
材料費	1,737,064	20.9	24.0	24.2
(うち薬品費)	855,608	10.3	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	819,107	9.8	11.1	11.7
減価償却費	640,873	7.7	9.2	9.5
経費	1,784,888	21.5	23.2	21.8
(うち委託料)	832,967	10.0	11.2	10.7
研究研修費	30,876			
資産減耗費	7,595			
(2) 医業外費用	259,833			
(うち支払利息)	7,743	0.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-888,131			
純損益	-888,131			
累積欠損金	9,660,799			
経常収支比率	90.5		98.0	96.3
医業収支比率	91.2		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	0.4		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	0.4		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	0.4		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	90.2		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,669,141
1 固定資産	10,187,997
(1) 有形固定資産	10,147,539
(2) 無形固定資産	1,186
(3) 投資その他の資産	39,272
2 流動資産	1,481,144
(1) 現金及び預金	91,841
(2) 未収金及び未収収益	1,326,787
(3) 貸倒引当金（ ）	12,001
(4) 貯蔵品	74,517
3 繰延資産	-
負債合計	3,755,546
1 固定負債	1,860,429
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	240,822
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,619,607
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,004,798
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,170
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	324,486
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	585,572
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	890,319
(1) 長期前受金	1,103,431
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	213,112
資本合計	7,913,595
1 資本金	16,162,929
2 剰余金	-8,249,334
(1) 資本剰余金	1,406,465
(2) 利益剰余金	-9,655,799
負債・資本合計	11,669,141
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	267,927	30,000
資本勘定繰入	83,194	6,000
計	351,121	36,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	116.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	柏原市
	病院名	市立柏原病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,350 m ²	指定病院の状況	救臨
診療科数	16	看護配置	7:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	220	78.4	79.2	81.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	78.4	79.2	81.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	14.3	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	71,112	
決算規模(千円)	23,577,793	
標準財政規模(千円)	14,848,973	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.1
修正医業収支金額(千円)	3,970,238

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,439,304			
1 経常収益	4,426,125			
(1) 医業収益	4,034,158			
入院収益	2,716,035			
外来収益	1,044,013			
診療収入計	3,760,048			
その他医業収益	274,110			
(うち他会計負担金)	63,920			
(2) 医業外収益	391,967			
(うち国・都道府県補助金)	2,662			
(うち他会計補助・負担金)	164,654			
(うち長期前受金戻入)	135,014			
(うち資本費繰入収益)	61,788			
(3) 特別利益	13,179			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,652,559			
2 経常費用	4,652,559			
(1) 医業費用	4,408,692			
職員給与費	2,257,623	56.0	55.9	59.2
材料費	822,063	20.4	24.0	19.6
(うち薬品費)	475,682	11.8	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	308,474	7.6	11.1	9.2
減価償却費	265,381	6.6	9.2	10.4
経費	1,053,838	26.1	23.2	27.3
(うち委託料)	497,915	12.3	11.2	11.8
研究研修費	7,445			
資産減耗費	2,342			
(2) 医業外費用	243,867			
(うち支払利息)	92,095	2.3	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-226,434			
純損益	-213,255			
累積欠損金	1,745,304			
経常収支比率	95.1		98.0	96.1
医業収支比率	91.5		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	5.7		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	5.1		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	90.2		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,735,584
1 固定資産	5,801,519
(1) 有形固定資産	5,621,039
(2) 無形固定資産	2,964
(3) 投資その他の資産	177,516
2 流動資産	934,065
(1) 現金及び預金	296,637
(2) 未収金及び未収収益	641,243
(3) 貸倒引当金()	15,351
(4) 貯蔵品	11,536
3 繰延資産	-
負債合計	7,681,679
1 固定負債	5,004,987
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,267,930
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	737,057
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,024,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	391,471
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	154,752
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,050,000
(8) 未払金及び未払費用	423,816
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	652,513
(1) 長期前受金	5,790,101
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,137,588
資本合計	-946,095
1 資本金	667,261
2 剰余金	-1,613,356
(1) 資本剰余金	131,948
(2) 利益剰余金	-1,745,304
負債・資本合計	6,735,584
不良債務	698,643
実質資金不足額	698,643
資本不足額()	946,095
資本不足額(繰延収益控除後)()	293,582
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	227,418	228,574
資本勘定繰入	221,474	221,474
計	448,892	450,048

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	698,643	17.3
28年度	374,355	9.3
27年度	150,374	3.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	698,643
健全化法上の資金不足比率(%)	17.3
地財法上の資金不足額(千円)	698,643
地財法上の資金不足比率(%)	17.3

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	藤井寺市
	病院名	市立藤井寺市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	5,423 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	98	82.6	80.8	83.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	82.6	80.8	83.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	10.2	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	65,438	
決算規模(千円)	24,951,081	
標準財政規模(千円)	13,718,035	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	103.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.1
	将来負担比率(%)	44.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.1
修正医業収支金額(千円)	2,426,936

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,540,985			
1 経常収益	2,540,985			
(1) 医業収益	2,426,936			
入院収益	1,178,470			
外来収益	1,161,249			
診療収入計	2,339,719			
その他医業収益	87,217			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	114,049			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	105,648			
(うち長期前受金戻入)	351			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,628,109			
2 経常費用	2,628,109			
(1) 医業費用	2,524,449			
職員給与費	1,204,875	49.6	55.9	69.4
材料費	936,565	38.6	24.0	17.1
(うち薬品費)	788,560	32.5	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	129,648	5.3	11.1	5.8
減価償却費	140,629	5.8	9.2	11.6
経費	233,692	9.6	23.2	31.2
(うち委託料)	142,256	5.9	11.2	12.1
研究研修費	7,745			
資産減耗費	943			
(2) 医業外費用	103,660			
(うち支払利息)	14,242	0.6	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-87,124			
純損益	-87,124			
累積欠損金	1,985,881			
経常収支比率	96.7		98.0	98.0
医業収支比率	96.1		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	4.2		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	4.4		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	4.2		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	92.7		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,454,237
1 固定資産	1,350,199
(1) 有形固定資産	1,350,033
(2) 無形固定資産	166
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,104,038
(1) 現金及び預金	719,341
(2) 未収金及び未収収益	370,256
(3) 貸倒引当金()	2,221
(4) 貯蔵品	16,662
3 繰延資産	-
負債合計	1,779,382
1 固定負債	1,408,812
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	798,535
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	610,277
(7) リース債務	-
2 流動負債	364,130
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	74,685
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	206,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,440
(1) 長期前受金	17,547
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,107
資本合計	674,855
1 資本金	2,599,008
2 剰余金	-1,924,153
(1) 資本金剰余金	61,728
(2) 利益剰余金	-1,985,881
負債・資本合計	2,454,237
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	105,648	105,648
資本勘定繰入	38,340	38,340
計	143,988	143,988

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	81.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	東大阪市
	病院名	総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	79.0	79.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	79.0	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	502,784	
決算規模(千円)	199,148,850	
標準財政規模(千円)	107,081,810	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	8.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	224,226			
1 経常収益	224,226			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	224,226			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	224,226			
2 経常費用	224,226			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.9	50.2
材料費	-	-	24.0	27.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.9
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.2	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	224,226			
(うち支払利息)	224,226	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	99.7
医業収支比率	-		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (29年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	阪南市
	病院名	阪南市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	185	70.3	73.7	72.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	70.3	73.7	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	14.9	17.1

設立団体の状況		
人口(人)	54,276	
決算規模(千円)	19,034,121	
標準財政規模(千円)	10,936,577	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	102.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	84.2

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	14,965 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	21	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.1
修正医業収支金額(千円)	8,553

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	382,405			
1 経常収益	369,719			
(1) 医業収益	8,553			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	8,553			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	361,166			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	235,234			
(うち長期前受金戻入)	37,589			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,686			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	453,034			
2 経常費用	449,448			
(1) 医業費用	404,806			
職員給与費	-	-	55.9	59.8
材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
減価償却費	175,719	2054.5	9.2	10.4
経費	228,898	2676.2	23.2	31.2
(うち委託料)	8,896	104.0	11.2	12.8
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	189	-	-	-
(2) 医業外費用	44,642	-	-	-
(うち支払利息)	40,563	474.3	1.7	1.8
(3) 特別損失	3,586	-	-	-
損益				
経常損益	-79,729			
純損益	-70,629			
累積欠損金	3,929,759			
経常収支比率	82.3		98.0	96.3
医業収支比率	2.1		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	63.6		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	2750.3		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	61.5		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	29.9		85.9	81.0

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,931,364
1 固定資産	2,750,541
(1) 有形固定資産	2,748,808
(2) 無形固定資産	1,733
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	180,823
(1) 現金及び預金	178,471
(2) 未収金及び未収収益	2,352
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,924,887
1 固定負債	2,679,377
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,679,377
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	110,287
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	108,472
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,815
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	135,223
(1) 長期前受金	322,679
(2) 長期前受金収益化累計額()	187,456
資本合計	6,477
1 資本金	2,669,850
2 剰余金	-2,663,373
(1) 資本金剰余金	1,266,386
(2) 利益剰余金	-3,929,759
負債・資本合計	2,931,364
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	44,127	235,234
資本勘定繰入	53,930	55,078
計	98,057	290,312

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45946.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。